



子どもの6分の1 6人に1人が貧困状態に陥っているといわれる現在の日本。この連載では、その6分の1の子どもたちの現状と、この地域で「子ども貧困」の解決に取り組む団体の活動をご紹介します。

「おそなえもの」を「おすそわけ」。 おやつの支援を通して、子どもたちと縁を結び、貧困問題に取り組む 『おてらおやつクラブ』

「仏教」や「お寺」と聞いて、みなさんは何をイメージされますか？

全国には7万を超えるお寺があります。どのお寺にも仏さまをお祀りするために、檀家さんや地域の人々から日々たくさんのお菓子や果物がお供えされます。ご自宅やご実家にお仏壇があり、いただき物や大切な品物はまず仏さまやご先祖さまにお供えし、それから自分たちが頂くという経験をお持ちの方も多くおられることでしょう。仏さまやご先祖さまを供養するための「おそなえもの」は、仏さまからの「おさがり」となって自分たちのもとへやってきます。

私たち「おてらおやつクラブ」は、お寺にお供えられる仏さまへの「おそなえもの」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、全国のひとり親家庭を支援する団体との協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。おすそわけを通じ、ご家庭と支援団体との関係性の深まりに寄与し、貧困問題の解決への貢献を目指します。

仏教は「抜苦与楽」＝「苦しみから離れる」ための教えであり、お寺は人々がその教えを学び、伝え広め、実践する場所です。「おてらおやつクラブ」の活動を通して、おそなえものやお寺にある生活用品

をお送りするという物資の支援だけではなく、長年に渡り育まれてきた仏縁あるお寺が地域社会の中で苦しむ人々とどのような縁を結び、ともに生きていける存在になりうるか。そのことをお寺の檀家さんや地域住民と一緒に考えていける「ご縁の創造」につながることも確信しております。

賛同寺院は47都道府県319ヶ寺

平成13年5月に大阪市で「最後におなかいっぱい食べさせられなくて、ごめんね」というメモを残して、母子が餓死状態で発見される事件をきっかけに、同年11月に2ヶ寺から始まった「おてらおやつクラブ」は、インターネット寺院「彼岸寺」で広く呼びかけ、全国での説明会を重ねて、現在は47都道府県319ヶ寺の賛同寺院が活動しています(平成28年3月末)。また、全国各地で支援団体と協働し、子ども支援に尽力する体制が少しずつですが整ってきております。

東海エリア(愛知・岐阜・三重)では45ヶ寺が賛同し、ひとり親家庭や子ども食堂(*)、経済的に困難な子どもたちの学習支援をする団体に協働を仰ぎ、現在17団体におやつを配送しています。おやつの配送も、可能な限りお坊さんが支援団体へおやつを直接持っていくことで、顔と顔が見える関係を作っています。お坊さんが支援団体を訪ねれば、子どもたちから「お坊さん、芸能人に似ているねー。イケメンだ!!」というように楽しく話をしながら、信頼関係を深め、一人でも多くの人間が関わっているということの自覚を促しております。

また、手渡しができない(距離が遠い)支援団体にも、配送の箱の中に僧侶からの一言お手紙を同封し、ただおやつを送るだけでなく、おやつを通してつながりを感じてもらえるように、いくつか工夫しております。

季節のイベントや季節に合うもの、また支援団体のジャンルを可能な限り考慮して配送する(ハロウィン・クリスマス、そめんなど。子ども食堂には食品中心、ひとり親家庭には生活用品、学習支援団体には甘いおやつ、文房具など)

お坊さんの心を込めた直筆の一言を添える
可能な限り手渡しで配送
お坊さんから子どもたちへのメッセージを受け取ってもらい、「一人じゃないんだよ、助けてって言ってい

いんだよ」というお坊さんができるセーフティネットの構築も視野に入れ、社会作りをしていきたいです。

「おてらおやつクラブ」は基本的には団体のサポートで、直接子どもたちと触れ合う時間はほとんどありませんが、各団体からこんな嬉しいお声も届きます。「いつもおやつをありがとうございます。受験シーズンで甘いものが重宝します!これで勉強がもうひとふんばりできます!!」「みんなポケットいっぱいにおやつを詰めていくんだ。家には弟がいて、お母さんもいる。みんなに分けたいと言って持っていくんだよ」「継続的に送ってもらうことで、見守られていると実感します。お手紙の一言で安心することができ、子どもと一緒にとても感謝しています」このようなお言葉を頂戴し、さらにお坊さんはやる気ができています。

おてらおやつクラブから皆様へおねがい

東海エリアでは、主に各寺院からご家庭に配送する従来の体制(団体から頂戴する住所を基に各家庭に寺院が直接配送)の他に、月に一度集会場となっているお寺(=会所)に集まっておやつを集荷し、支援団体への配送をする体制でも活動しています。現在、会所となっている2ヶ所のお寺に毎月1回お坊さんたちはおさがりを携え、集まります。その際、一般の方にも集荷配送のお手伝いや、おそなえの寄付をしていただいております。

ひとり親家庭支援、学習支援、子ども食堂といった活動を支援していらっしゃる団体
何か子どもたちのために役に立ちたいと思う一般の方々
おそなえをおさがりとしてお裾分けして下さる御寺院
おそなえだけでなく活動資金をご寄付して下さる方を募集しております。

ぜひ、「おてらおやつクラブ」と協働していただき、「子どもたちの笑顔のために」一緒に活動していただくことを心より祈念しております。

(執筆: 蒲池卓巳、野田芳樹、高山信雄)



みんなで発送作業をして、心を込めてお届けしています

INFORMATION



おてら おてらおやつクラブ
おやつ HP: <http://otera-oyatsu.club>
クラブ E-mail: mail@otera-oyatsu.club

月1回、集荷配送を開催している会所

【賢隆山久遠寺】月初めに集荷
名古屋市中区新栄1-4-6
TEL: 090-3560-3958(担当:副住職・高山)
HP: <http://www.machitera.net/aichi-kuonji/>
E-mail: kenryuzan-kuonji@nifty.com

【薬師山林昌寺】月半ばに集荷
春日井市林島町105
TEL: 0568-81-7640(担当:副住職・野田)
E-mail: yakushi.rinshou@gmail.com



たくさんの「おすそわけ」が集まります

*子ども食堂・・・子どもたちに、無料か低料金で、おいしい食事、誰かと一緒に食事をするあたたかい時間や地域とのつながりを提供する取り組み。